

令和6年度第10回朝来市教育委員会 定例会議録

1 日 時 令和7年1月20日(月)

開会 午前10時00分 閉会 午前10時44分

2 開会宣言

3 会議録署名委員の指名 (高内委員) (能見委員)

4 会議録の承認

令和6年度第9回会議録署名委員 (青田委員) (高内委員)

5 教育長報告

6 議事

議案第1号 令和7年度朝来市教職員人事異動方針について

7 報告事項

(1) 令和7年度児童生徒数見込みについて

(2) 令和6年度卒業式・令和7年度入学式の日程について

(3) 令和6年度朝来市中学校新人戦大会結果について

(4) 朝来市学校給食総選挙について

(5) 教育委員会行事予定について

(6) 次回 第11回教育委員会の日程について

日時：令和7年2月21日（金）午前10時00分

場所：朝来市役所 本庁舎 404会議室

8 閉会

9 出席委員 教 育 長 小倉畑 祐貴

教育長職務代理者 青田 勉

委 員 足立 武裕

委 員 高内 祥子

委 員 能見 愛子

10 出席職員 教育部長 田中 勉

教育委員会事務局次長

兼学校教育課長 山本 喜裕

文化財課長 中島 雄二

学校給食センター所長 藤本 宏子

学校教育課参事 福田 秀則

学校教育課主査 片岡 修

朝来市教育委員会会議録

令和6年度第10回定例委員会（令和7年1月20日）

開会 午前10時00分

○ 小倉畑教育長

ただいまから、令和6年度第10回朝来市教育委員会定例会を開会いたします。

本日は、4名の委員の出席ですので、会議は成立いたします。

本日の会議に出席する職員は、田中教育部長、山本教育委員会事務局次長兼学校教育課長、中島文化財課長、藤本学校給食センター所長、福田学校教育課参事、片岡学校教育課主査の6名でございます。

次に、次第の3「会議録署名委員の指名」を行います。

会議録署名委員には、高内委員、能見委員をお願いいたします。

次に、次第4「会議録の承認」に移ります。

令和6年12月20日に開催しました令和6年度第9回朝来市教育委員会定例会の会議録は、委員の皆様事前に配付しておりますが、何かお気づきの点はございませんか。

特に御意見がないようですので、前回の会議録は原案のとおり承認することに御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○ 小倉畑教育長

第9回定例会の署名を、青田委員、高内委員をお願いいたします。

（会議録署名）

○ 小倉畑教育長

次に、次第5「教育長報告」に移ります。

事務局から報告いたします。

○ 山本次長

資料説明

○ 小倉畑教育長

報告が終わりました。何か御質問はございませんか。

ないようですので、教育長報告は終わります。

次に、議事に入ります。

議案第20号 令和7年度朝来市教職員人事異動方針について、学校教育課から説明いたします。

○ 福田参事

資料は2、3ページになります。

令和7年度朝来市教職員人事異動方針ということで(案)がついておりますが、変更点にはアンダーラインを入れさせていただいております。

年度の変更と前々回の定例教育委員会でも御確認いただきました「あさご夢・学びプラン」、第4期朝来市教育振興基本計画になりますので、4に変更をさせていただいております。

(6)番の事務職員についてですが、「同一所属または同一ポストに長期間滞留することによる不祥事を防止する」について、事務職員から事務職員が不祥事を行うようなイメージを持たれるので文言を変えてほしいという要望がありましたので、デメリットという表現に変更しています。

「第4期あさご夢・学びプラン」の実践を通して、「生きる力」を育む特色ある教育の取組を充実させ、子どもたちが安心して学べる魅力ある学校づくりを家庭・地域と連携して推進するための人員配置を今行っているところでございます。実際に社会的な問題になっている教師不足に関しましても、確保に県の教育委員会がかなり苦勞しているという途中経過をいただいているところでございます。

朝来市教職員人事異動方針につきましては、以上でございます。

○ 小倉畑教育長

説明が終わりました。何か御質問はございませんか。

ないようですので、この件は異議なしと認め、「議案第1号 令和7年度朝来市教職員人事異動方針」については、原案のとおり承認いたします。

本日の議事が終わりました。

続いて、報告事項に入ります。

「報告(1) 令和7年度児童生徒数見込みについて」、学校教育課から報告いたします。

○ 福田参事

資料は4ページになります。報告1、令和7年度児童生徒数見込み、1月1日現在のものを出させていただいております。1月1日現在ですので、先週末に梁瀬小学校の1年生、ここに変更が生じております。最新のものは梁瀬小学校が36人という状況になっております。変更箇所は、網かけで色をつけさせていただいておりますが、確認させていただきます。

まず、生野小学校については、現在ある難聴学級が廃級のため、1学級減ということになります。

続いて、糸井小学校、大蔵小学校につきましては、変更はございません。

枚田小学校の1年生が35人で、35人学級の児童が入っておりますので1クラスというこ

とになっています。ここも2名減、学級が1クラス減であるのに職員が2名減ということでわかりにくい状況になっております。

ただ、先ほど申しあげましたように、梁瀬小学校も1名減とありましたが、枚田小学校、梁瀬小学校と校区が大きく人数が多い小学校につきましてはぎりぎりまで分からないので、枚田小学校が1人転校してまいりましたら36人ということで2学級になります。そうすると、教職員が2名増ということになります。現在、朝来市としては1月1日現在のこの学級数で教職員の希望を出しておりますので、こちらで臨時の教職員を探さないといけないという状況になります。そういった点からも、学校と綿密に連絡を取っているところでございます。

東河小学校、竹田小学校については、変更はございません。

梁瀬小学校は1学級だった6年生が卒業して1年生が2学級ということですので、1学級増ということになっております。ここについても36人ですので、年度末に1人転校すると、今度は職員数を1減しないといけないという状況になります。そういった場合は過員と申しまして、法定で与えられた教職員数よりも多くなりますので、要は臨時の方にごどこか他市町を御紹介しないといけない状況になるということでございます。

中川小学校は、知的学級が廃級になりましたので、1学級減という状況でございます。

以上が小学校です。

続いて、中学校にまいります。

生野中学校については、変更はございません。

和田山中学校は、2年生に年度途中で転校がありまして121名になりましたことから、全て4学級ということで1学級増。この14学級という構成になりますと、職員数が3名増えます。本年度より教職員が3名増えるという状況になっております。

梁瀬中学校につきましては、1学級減、新1年生が1学級、今の3年生が2学級ということで1学級減になっております。ここは教職員数が7クラスになりますと2名減ということで、今年度から2名減になる予定でございます。

朝来中学校は、学級数に変更はございません。朝来中学校につきましては、2年生が40名ですので、ここに転校生が5月1日までに入ると1人教職員が増ということになります。和田山中学校は逆に121名ですので、1名がどこかへ転出しますと学級減。そうしますと、ここは職員数が3名減ということになりますので、非常に微妙な数で行き来をしておりますので、先ほども申しあげましたように、学校と連携を密にして教職員の配置を考えていかないといけないという状況でございます。

報告は以上です。

○ 小倉畑教育長

報告が終わりました。何か御質問はございませんか。

○ 委員

確定は5月1日。

○ 福田参事

はい。

○ 委員

以前は4月の入学したときではなかったかなと思うが。

○ 小倉畑教育長

4月9日の入学式に向けて見込みをして、5月1日で確定となります。

○ 委員

以前から変更はないということですね。

○ 小倉畑教育長

基本的には変わっていないと思います。

それでは、続いて報告(2)に移ります。令和6年度卒業(園)式・令和7年度入学(園)式の日程について、学校教育課から報告いたします。

○ 福田参事

資料は5ページになります。卒業(園)式、入学(園)式の日程を出させていただきます。

卒業式は年度当初の予定どおり3月21日の金曜日が小学校、多くの学校が9時開式という予定になっております。市内の各中学校は3月10日の月曜日、9時開式で予定しております。こちらにつきましては、日程変更なしで来賓の方には参加者の調整をさせていただいた上で御案内を担当からさせていただきます。

続いて、令和7年度の入学(園)式ですが、前回の定例教育委員会で御案内いたしましたように、子どもたちと余裕を持って向き合うための1日遅らせての入学式ということで承認いただいております。そのため、当初の予定より1日ずらした4月9日水曜日で実施させていただきます。これにつきましてはこども園の協力等もありまして、本当に地域全体で学校を支えていただいているというのがよく分かる状況で、気持ちよく御了承いただいて9日となっておりますことを御報告させていただきます。

開式時刻ですが、多くの学校が9時半、13時半ということで、これも学校によって時間が変わってくるところもありますので、御案内を見ていただけたらというところがございます。こども園が実際今までは4月9日に入園式を行っていましたが、そこに小中学校の入学式が

入りましたので、こども園さんは4月11日の金曜日、ここに入園式を実施されるということで、先週末こども園課から報告を受けているところでございます。

以上です。

○ 小倉畑教育長

報告が終わりました。何か御質問はございませんか。

ないようですので、次に報告（3）に移ります。（3）令和6年度朝来市中学校新人戦大会結果について、学校教育課から報告いたします。

○ 福田参事

令和6年度朝来市内中学校新人大会記録結果一覧表が6、7ページになります。

御覧いただいたとおり、以前この定例教育委員会で御報告いたしましたように、最近は団体種目よりも個人種目の方が入部者が多いということで、但馬の中学校新人大会でよりよい成績を残して、中学校県の新人大会に駒を進めたというのは個人競技がほとんどということになります。団体でいきますと、和田山中学校のバレーボール部男子が県大会に進出した以外はほぼ個人種目という形になっております。

また、先週に県のスキー大会の結果が新聞報道等でありましたけれども、参加者数が少なくなると役員数も少なくなっていて、本当に大会運営が厳しい状況と聞き及んでおります。また、これから部活動の地域展開に向けて市としてどのようにやっていくか、先ほどの言葉で気づいていただけたでしょうか。地域展開という言葉を使いました。この間まで地域移行だったんですが、今回、地域展開という言葉が変わっております。国も県も本当に苦心されているようで、言葉がいろいろ変わるなど、明確なこの方針で行ってくださいというのが出てきません。市の独自性と言われるのですが、なかなか人、物、お金、こういったものを確保するのに苦労する地方としましては、地域の方からアイデアをいただき、御尽力をいただく、お力を貸していただかないとなかなか回っていかないのかなということで、令和8年度に向けて取組をしているところでございますが、本当に子どもたちにとって何が一番よりよいのかということを考えていくことを継続していかないといけないと感じているところでございます。

報告は以上です。

○ 小倉畑教育長

報告が終わりました。何か御質問はございませんか。

ないようですので、次に報告（4）朝来市学校給食総選挙について、給食センターから報告いたします。

○ 藤本所長

では、御説明いたします。第5回 朝来市学校給食総選挙を実施します。朝来市では全国

学校給食週間（1月24日から30日）にちなんで、子どもたちの「食への関心」を深めることを目的として日本各地でとれる食材及び郷土料理を給食に提供し、児童生徒がもう一度食べたい献立を選び投票する学校給食総選挙を実施します。

実施期間は、1月24日の金曜日の給食から1月30日の木曜日の給食までです。投票期間は、30日から2月3日まで。投票場所は、市内の小中学校で行います。

内容は、本年度のテーマを「日本全国ご当地グルメの旅」として、日本各地でとれる食材や郷土料理を提供します。提供する献立の中から、市内小中学校の児童生徒にもう一度食べたい献立に投票してもらいます。

投票の方法は各学校に「朝来市学校給食総選挙投票表」というのを配付します。これに一人1個シールを貼付してもらいます。

投票結果は、学校給食センターから2月下旬に配付する3月献立表で発表し、1位の献立は3月に再登場する予定です。

提供日、地方、献立です。1月24日の金曜日、九州・沖縄地方、ごはん、牛乳、きびなごのから揚げ、クープイリチー、だぶ汁。1月27日、北海道・東北地方、コッペパン、牛乳、ほっけのフライ、茎わかめのマリネ、コーンポタージュ、りんご（ふじ）です。1月28日、関東・中部地方、ごはん、牛乳、鶏ちゃん焼き、かんぴょうのサラダ、けんちん汁。1月29日、近畿地方、コウノトリ米ごはん、牛乳、焼きカレー、とふの粉の煮物、飛鳥汁、みかん。1月30日、中国・四国地方、ごはん、牛乳、チキンチキンごぼう、ゆずポン酢和え、いもこん鍋、以上を提供予定です。

以上で、説明は終わります。

○ 小倉畑教育長

報告が終わりました。何か御質問はございませんか。

○ 委員

すみません、お伺いします。この献立表というのは、このままが出るのですか。

○ 藤本所長

はい、このままを献立表に載せております。

○ 委員

そうなんです。九州・沖縄で言ったら、地域が広いですよ。そうしたら、この献立の中で分かるのが多分片仮名で書いてあるのは沖縄かなと思うんですけども、この品物はどここの県とかいう県名というのは書かれないのですか。

○ 藤本所長

各学校に模造紙で配付しまして、そこに一週間分の献立とどこの地域というのを紹介する

予定にしております。それを縮小してきたんですけれども、これを縦向きに印刷して、子どもたちに説明する予定にしています。

○ 委員

それともう一つ、投票というのはこの地方のそれぞれの投票になるのか、一個ずつ別々でも構わないから好きなものを書くのか、どちらになるのですか。

○ 藤本所長

今年は1日分でこのメニューが食べたいというところに、この下のところにシールを貼ってもらうことにしております。

○ 委員

分かりました。ありがとうございます。

○ 小倉畑教育長

ほかにないでしょうか。

学校を回っていると、大きな模造紙が貼ってあるのを御覧になったことがあると思います。あれが13校全部作られているんですね。だから、今回も投票に関してはそういう教材というか、資料を作って提供されているということ、本当に頭が下がるなと思うんですけれども、食育の一環として取り組んでいるということですね。以上でございます。

それでは、報告が終わりましたので、報告（5）に移ります。教育委員会行事予定について、学校教育課から報告いたします。

○ 山本次長

それでは、報告（5）教育委員会行事予定につきまして説明させていただきます。

資料9ページ、別紙2を御覧ください。

本日から2月末までの予定を記載しております。主なもののみ説明させていただきます。

1月26日、日曜日、あさご人権フェスティバル新春交流会が開催されます。

1月28日、火曜日から29日の水曜日にかけて、文教民生常任委員会行政視察が行われ、田中教育部長と学校教育課職員が同行します。

1月30日、木曜日、第3回朝来市部活動の在り方検討委員会を開催します。

2月4日、火曜日、第10回校長会を開催します。また、第4期朝来市教育振興基本計画第4回策定懇話会を開催します。

2月6日、木曜日、但馬教育長会議が開催されます。

2月7日、金曜日、生徒指導教育相談研修会を開催します。

2月13日、木曜日、14日、金曜日、17日、月曜日、18日、火曜日に、校長ヒアリングを行います。

2月18日、火曜日、トライやる・ウィーク推進委員会を開催します。

2月21日、金曜日、第11回定例教育委員会を予定しております。

2月26日、水曜日、3月議会が始まります、

以上で、報告（5）教育委員会行事予定についての説明とさせていただきます。

○ 小倉畑教育長

特にお尋ねはございませんでしょうか。

事前にお知らせしている報告は以上なんですけれども、お手元に資料がありますように文化財課から報告いたします。

○ 中島課長

この場をお借りしまして、令和6年度中の主な事業につきまして、御説明させていただきます。着座にて失礼いたします。

まず最初に1番としまして、埋蔵文化財センターの運営管理事業でございます。現在、重要文化財であります茶すり山古墳の所有物等を当館で管理しておるんですけれども、そのうちの一つ、襟付短甲（えりつきたんこう）というよろいの一種なんですけれども、薄い鉄板を折り合わせて一つのよろいにしておるんですけれども、その鉄板の一部が折損したということがありまして、その修理事業を今年度行う予定にしております。

この経費につきましては、兵庫県立考古博物館で秋に開催されておりました特別展示の中で朝来市が貸与しておりましたよろいの一部、鉄板の一部が返却作業のときに折損していたということが分かりました。確認しましたところ、発掘によりばらばらで出てきたものを接着剤等で接合していた部分が偶然そこから外れていたということが確認できましたので、県を通じて文化庁にはその旨を報告しまして、今後文化庁の指示に従いまして修理届というものを出示しまして、年度内に修理をする予定にしております。この件につきましては、朝来市に瑕疵は全くございませんので、朝来市の負担はございません。

通常といいますか、もう少し新たに割れたり折れたりした部分が発生しておりますと、文化庁に毀損届という、なおちょっと重たい書類を出していく必要があるんですけれども、先ほど申し上げましたように、今回は以前にばらばらで出てきたものを接合していた部分が外れたということですので、新たに割れるとか破損が発生したということではないので、手続上少し簡易な方法で届けを出して修理をしているということで今のところ進めております。

2番目としまして、天然記念物保護活用事業でございます。令和5年度に兵庫県から譲渡を受けました生野町の黒川のダムの麓にあります、黒川自然公園センターというものが県の施設でありましたけれども、それを5年度に市が譲り受けております。その施設について市の自然環境保護施設に改修、整備するための実施設計を現在行っております。今年度中に設

計をまとめまして、令和7年度に工事を着工し、年度内の完成を今目指しているところでございます。

なお、一般への公開につきましては、令和8年度のしかるべき時期に予定をしております、これも今から時期スケジュールを検討しているところでございます。

3番目、竹田城跡保存整備事業でございます。平成30年度から実施しております整備工事の今年度分につきましては、9月から工事が始まりまして12月には全て終了しております。現在行っております整備工事につきましては、令和9年度に終了予定となっております、その後、整備工事をまとめた報告書を作成する予定にしております。

続きまして、整備工事に伴う事前の遺構確認調査のまとめを作成中でございます。これは補助金を受ける上で必要な処理でございます、発掘調査に係る調査報告書でございますけれども、それについて今作成をしているところです。今年度につきましては、竹田城にもともとあった建物に載せられていたと思われ鬼瓦ですとか、鬼瓦をはじめとした瓦がたくさん出土しております、これの報告、それからその当時に見つかった遺構の報告を予定しております。

これらの整備工事に伴います事前の遺構確認調査の報告につきましては、令和10年度までで継続して行って作成しております、その後これを最後に個別の確認調査で見つかった報告について、最後に総括した報告書を策定する予定としております。

続きまして、4番目としまして、埋蔵文化財調査事業でございます。現在、朝来市に存在いたします池田古墳をはじめとする大型古墳の国史跡指定を目指して行っている事業でございます、養父市の大型古墳を含む10基の古墳を指定候補としまして、それらの古墳の発掘調査と調査報告書の作成を今行っているところでございます。

ちなみに10基の候補予定なんですけれども、朝来市が6基、養父市が4基ということで、合わせて10基ということで進めております。令和6年度につきましては、和田山町の東谷、ちょうど和田山トンネルのちょうど上のあたりにあります、西山1号墳という古墳の調査を令和3年度、令和2年度、4年度、5年度と調査しておりましたけれども、その発掘調査の報告書の作成を行っております。

それから、弥生が丘にあります県の史跡であります小丸山古墳という古墳がございますけれども、その発掘調査を実施しました。発掘調査につきましては、令和6年度の10月から開始しまして12月末で全て終わっております。この古墳の調査につきましては、令和5年度と令和6年度に調査をいたしまして、令和7年度、来年度に調査報告書を作成する予定としております。

これら候補となります養父市の古墳も含めまして、発掘調査の調査報告書を作成しまして、

これらを総括して古墳のそれぞれの価値づけを行いまして、最終的に総括報告書にまとめまして、国へこれらの古墳の国指定史跡をお願いする具申という手続があるんですけども、これを令和10年度に行う予定としております。令和6年度現在、この3月までと途中でございますけれども、こういった事業を主に文化財課では取り組んでおりますので御報告させていただきます。

以上でございます。

○ 小倉畑教育長

御質問はございませんか。

多分主なものを書いてこれだけなのでもっともっとありますし、その一つ一つが重いというか、重要なものを朝来市が有しているということは共有していただけたらうれしいなと思います。

よろしいでしょうか。

それでは、その他に移ります。次回、教育委員会の日程について、事務局から説明いたします。

○ 山本次長

それでは、次回の日程でございますが、2月21日、金曜日、午前10時から場所は本庁舎404会議室で開催しますので、よろしくお願いいたします。

次回の日程につきましては、以上でございます。

○ 小倉畑教育長

それでは、次回のことは今あったとおりで、2月21日の10時から404会議室ということですね。

閉会の前に、このペーパーはまた家で御覧いただいたらいいのですが、少し時間をいただいてちょっと触れさせていただきたいと思います。年末にテレビのニュースでまとまった時間をとって取り上げられていることを知りまして、校長先生方にも紹介したので少しお時間をさせていただきたいと思うんですけども、この報道を見られた方はおられますか。

○ 委員

映画ですか。

○ 小倉畑教育長

映画です。この映画がテレビニュースのことで取り上げられた理由は、この作品がIDAドキュメンタリー賞短編部門最優秀賞を受賞したんです。ドキュメンタリー界のアカデミー賞と言われるものらしいです。それと合わせて、アカデミー賞の短編ドキュメンタリー賞にもノミネートされているということでした。海外でも注目されていたということで、フィンラ

ンドでは上映期間を延ばして上映されるほど注目されていて、教育関係者が実際に日本にも視察に来られたということでした。

日本では、関西圏でも数館の映画館で上映されておりまして、上映期間も延長されているようです。今も幾つかありました。私自身も年明けに見てきて、地域差があるものの日本の小学校なら共通するような場面とか出来事がちりばめられているというもので、ここにおられる委員さん方ならよく知っておられるような場面や出来事が多いと思います。

今日お話しするのは、こんな映画があるということ。そして、それが日本の教育システムが海外でも注目されていると取り上げられていたことを共有できたらと思って紹介させていただいています。とかく課題とか不祥事など教育を含めて元気が出ないような、気分が重くなるような傾向の報道が多い中で、ありふれた日常がすばらしいと言われているような気がしておりますし、そんなことで朝来市内外の教育関係者だけでなく、日本の営みとか文化がよい意味で自信や誇りを持つことにつながればと思っていますところでした。

関連してもう一つ申し上げたいことが、これを受賞されたときの監督のコメントです。この山崎エマさんは、お父さんがイギリス人、お母さんが日本人で、神戸で生まれて、大阪の小学校に通われて、中学校高校はインターナショナルスクールで学ばれたそうです。御自身が若いときにニューヨークで働いていたときに、山崎さん自身を時間どおりに来るとか、チームワークがいいとか、責任感があるなどと認められたり評価されたりしていることが多かったらしくて、どうして自分がそうなのかと振り返ったときに、そのルーツが日本で小学校時代にあると思われたことからこの制作につながったということでした。

受賞のスピーチですが、そのまま申し上げます。この場を借りて、教育者たちにスポットライトを当てたいです。日本だけでなく世界中の教育者たちは、次世代を育て、子どもたちの未来を築くという不可能な仕事を求められている方々です。十分なサポートや感謝がないと感じます。学校でどんな未来を教えたいかを考えるのは、私たち全員の仕事だと思います。子どもたちに何をどう教えるかが私たちの未来への鍵だと思います。日本の小学生をめぐるこのキュートで強烈な小さな物語を通して、日本であれ、世界であれ、次の世代をどのように育てたいかを考えることができると願っています、ということでした。これもネット上で見たとき切り抜きかもしれませんけれども、こういうようなことでした。教育に対しての応援であるなどと思っていますし、我々が第3期の教育振興基本計画の底辺に流れて、第4期につないでいく地域総ぐるみの教育ということにも通じるスピーチであるかなと私は思いました。

このようなことで紹介したんですけれども、時間があればまた御覧いただきたいなと思います。読んだ中には、例えば日本がやっている教育の取組、営みというのは、今、個人主義

が跋扈しているこの世の中において、日本も世界もね、地球温暖化なんかみんなで行き詰まるといかなないと、各国で行き詰まるといかなあかんことに対して、ばらばらで果たしていいんだらうかというような思いもこの監督は思っておられるみたいで、日本のような教育が一石を投じるといふか、大事なことだということを取り上げていただいた記事もありました。

時間いただいたんですけど、このような作品があることとか、また国内外で評価されていることに加えて、監督の思いも含めて共有できたらと思って紹介させていただいたところでございます。お時間をいただきました。ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして、令和6年度第10回教育委員会定例会を閉会いたします。

ありがとうございました。

閉会 午前10時44分